

## ■自己評価結果公表シート（平成 29 年度）学校評価委員会資料 ①幼稚園

### 1、園の教育目標

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| ① よく考え、よくみつめる子ども  | 【思考・認識】    |
| ② 自分から進んで創り出す子ども  | 【自主・自立・創造】 |
| ③ 辛抱がよく、やりとげる子ども  | 【忍耐】       |
| ④ 心の美しい、優しい子ども    | 【情緒】       |
| ⑤ 友だちと元気に仲よく遊ぶ子ども | 【協調】       |

### 2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- |                                   |
|-----------------------------------|
| ◎園内・外に関わらず、常に整理・整頓・美化に努める         |
| ◎支援の必要な子どもへのかかわり方について職員全体で話し合う    |
| ◎指針をもとに運動遊びを行い、段階や年齢、個人にあった指導をする  |
| ◎リズムを通して、音楽に親しみが持てるよう積極的に保育に取り入れる |
| ◎安全マニュアルの年間計画にそって、兄弟学級の交流を充実させる   |

### 3、評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
◎園内・外に関わらず、常に整理・整頓・美化に努めたか。	自分自身も、子ども達も、気づいて整理・整頓できるように声をかけ、意識づけた。
◎支援の必要な子どもへのかかわり方について職員全体で話し合うことができたか。	自分のクラスだけではなく、他のクラスの要支援児の様子も、話し合い理解することができた。また、フリーの先生とも連携を取り要支援児にかかわることができた。
◎指針をもとに運動遊びを行い、段階や年齢、個人にあった指導をすることができたか。	学年で計画し取り組むことができたが、個人にあった指導が難しく時間も十分にとることができなかった。
◎リズムを通して、音楽に親しみが持てるよう積極的に保育に取り入れることができたか。	子ども達が興味のある曲での表現遊びや、リズム遊びなど、時間を見つけて積極的に取り入れることができた。
◎安全マニュアルの年間計画にそって、兄弟学級の交流を充実させる	兄弟学級や異年齢間の交流を、積極的に行うことができた。年間計画についてはスケジュール的に見直す必要がある。

◎ 4、 の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<b>A</b>	年間で決めた目標に対して、職員一人ひとりが意識して取り組むことができた。経験年数の長い先生を中心に、運動遊びや表現遊びなど積極的に保育に取り入れることができた。特別支援児に対して学年全体やフリーの先生と話し合い、成長を共有できた。
----------	---

5、 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み状況
子どもの主体的な遊びを育むための環境作り	・職員間で話し合いを重ね、アイデアを出し合い園内、外に関わらず、子どもの遊びが発展するよう環境を整える
幼児理解に努める	・園児一人ひとりの様子や、支援の必要な園児へのかかわりについて、職員全体で話し合い、共通理解を深める
異年齢交流の充実を図る	・兄弟学級にかかわらず、異年齢交流ができるよう保育園職員とも連携を取り、交流をさらに充実させる
教職員の資質向上を目指す	・園内研修に参加し、自身の保育に役立てるとともに、自らも積極的に保育について研究を行い、園全体の保育の質の向上に努める